



平成 26 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 興 銀 リ ー ス 株 式 会 社
代 表 者 の 代 表 取 締 役 社 長 大 西 節
役 職 氏 名 (コード番号：8425 東証第1部)
問 い 合 わ せ 先 取 締 役 企 画 部 長 丸 山 伸 一 郎
電 話 番 号 0 3 - 5 2 5 3 - 6 5 1 1 (代 表)

興銀リースグループ 第4次中期経営計画について

当社グループは、平成 26 年度から開始する第 4 次中期経営計画（平成 26 年度～平成 28 年度）を策定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

< 第 4 次中期経営計画 概要 >

I. ビジョン

時代を見つめ、お客様と共に成長する特色ある総合金融サービスグループ

II. テーマ

『新たな成長への挑戦』

< 基本戦略 >

- ①コア事業（リース・割賦・金融）の拡充
- ②専門金融ポートフォリオの向上
- ③海外ビジネスの強化・拡大
- ④環境変化を捉えるビジネスインフラの構築

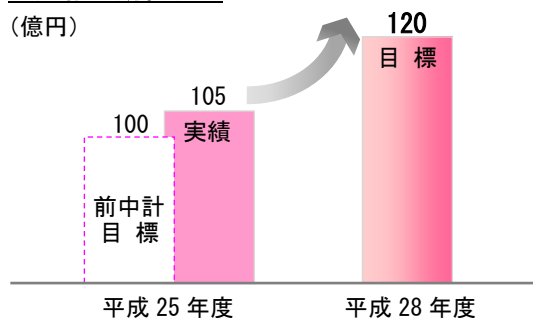
平成 28 年度 数値目標

連結当期純利益： 120 億円

連結営業資産残高： 15,000 億円

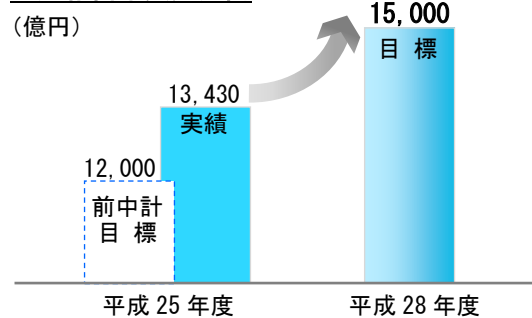
■ 連結当期純利益

(億円)



■ 連結営業資産残高

(億円)



1. 現状認識について

(1) 前中期経営計画の総括

当社グループは、平成 23 年度からスタートした第 3 次中期経営計画において、『法人向け総合金融サービスグループとしてのステップアップ』を掲げ、その実現に向けた重点施策を推進するとともに、事業環境や社会構造の変化に即した顧客基盤と事業領域の拡大に取り組んでまいりました。

初年度には、東芝系金融会社 2 社の買収等により事業基盤を大幅に拡充し、また、平成 25 年 9 月には成長原資の確保と財務基盤の強化を目的に公募増資を実施するなど、今後の景気回復局面を捉えた積極的な営業展開を可能にする基盤の構築に注力いたしました。

この結果、最終年度の平成 25 年度における営業面および利益面の数値目標をいずれも達成し、持続的成長に向けた基盤を強化いたしました。

(2) 今後の環境認識

今後の当社グループを取り巻く事業環境については、世界経済は地域間の差異はあるものの大枠としては堅調に推移し、国内経済も政府による成長戦略の具体化とオリンピック効果等も相俟って、長引くデフレからの脱却を含め、徐々に景気は回復に向かうものと予想しております。また、景気回復に伴い、内需型産業等を中心とした設備投資の拡大、企業の資金調達ニーズの多様化、海外展開の活発化、さらには金融のグローバル化による新たなファイナンスニーズの増加など、当社グループのビジネス機会はより拡大していくことと見込んでおります。

当社グループは、前中期経営計画における営業基盤の拡充や財務基盤の強化といった成果をもとに、今後のビジネス機会を積極的かつ着実に捕捉するため、事業環境や社会構造の変化に即した顧客基盤と事業領域の拡大に向けた取組みをさらに加速させてまいります。

環境変化に自ら積極的に対応し、取引先企業との一層の関係強化と取引深耕を図りながら、個社のニーズはもとより、業種・商流の視点から幅広くニーズを捕捉することで、全社一丸となって企業の成長をサポートしてまいります。

2. 第 4 次中期経営計画について

(1) ビジョン

「時代を見つめ、お客様と共に成長する特色ある総合金融サービスグループ」

当社グループは、時代や環境の変化に合わせて自らも変化を続け、リースビジネスに留まらない多様な金融サービスを取引先に提供することにより、再び成長局面に入ろうとしている日本の産業をサポートし、自らも一層成長していくことが重要であると考えております。

専門性に裏付けされた提案力と取引先ニーズに応える営業力をマーケットから評価され、様々なステークホルダーから期待される存在となるようグループ一丸となって邁進するとともに、ステークホルダーの要請に応えることにより、企業の社会的責任（CSR）を果たしてまいります。

(2) テーマ

『新たな成長への挑戦』

—総合金融サービスグループとしての独自性を発揮し、取引先ニーズに幅広く応え、更なる進化を目指す

当社グループは第4次中期経営計画において、前中期経営計画から発展的に継承した取組みをさらに加速させ、併せて、増資等により強化した財務基盤を最大限活用することで、取引先のニーズに幅広く対応し企業の発展に貢献するとともに、当社も一層の成長を目指してまいります。

また、事業環境や社会構造の変化に伴いビジネスニーズが多様化するなか、事業領域の拡大とそれによる顧客基盤の広がりを通じ、営業資産と収益の更なる拡充を進めてまいります。

(3) 新たな成長に向けた基本戦略

① コア事業（リース・割賦・金融）の拡充

成長分野への取組み強化を継続しコア事業の更なる深化を図るとともに、強固な関係を有する金融機関等との連携営業の推進や親密取引先商圏の更なる深掘りにより事業基盤の一層の拡充を進めてまいります。

② 専門金融ポートフォリオの向上

不動産、船舶、航空機に係るファイナンスに加え、海外プロジェクトファイナンス等の専門金融分野に積極的に取組むとともに、リース会社の特性を活かしたビジネス機会を幅広く捕捉することで、アセットの質的向上と量的拡大を実現してまいります。

③ 海外ビジネスの強化・拡大

アジアを中心に従来からの日系企業向けビジネスに加え、非日系企業への展開を含めた事業領域の拡大を目指してまいります。同時に、外貨調達力の強化と外貨ALMの高度化に取り組んでまいります。

④ 環境変化を捉えるビジネスインフラの構築

営業力の強化と事業環境の変化に機動的に対応すべく、営業サポート機能の充実と最適化に努めてまいります。また、人的資源を強化・拡充することで、営業人員の増強とグローバル対応を加速してまいります。

(4) 数値目標

第4次中期経営計画の最終年度（平成28年度）に目指す数値目標は、以下の通りです。

連結当期純利益： 120億円

連結営業資産残高： 15,000億円

以 上